

# 設置しましたか？ 火災警報器

消防法の改正により、新築住宅については平成18年6月1日から設置が義務付けられた火災警報器。既存住宅についても田川地区消防組合火災予防条例によって、取り付けが義務化されました。空気が乾燥して火災に要注意の季節です。皆さんの生命と財産を守るためにも、まだ設置していない家庭ではぜひ早めに取り付けましょう。

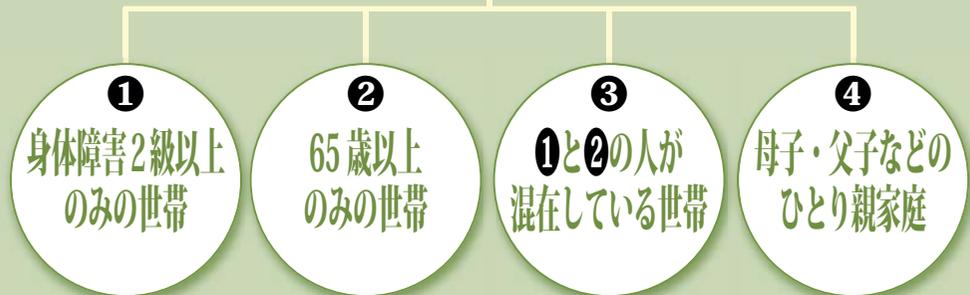


ご存じですか？

## 福智町住宅用火災警報器設置要綱

次の条件に該当する世帯に対して火災警報器1個が町の予算の範囲内で無料支給されます。次の図で、条件に当てはまるかを確認してみましょう。

### 福智町在住で



①から④のいずれかに当てはまり、以下のすべての条件を満たす世帯

- 平成20年度住民税非課税の世帯
- 自己所有家屋である世帯
- 警報器設置申請時点で公共料金等を完納している世帯
- 警報器を設置していない世帯
- 生活保護を受けていない世帯

以上の条件に当てはまる世帯の人は役場総務課庶務係まで申請してください。該当世帯に対して町から火災警報器1個が支給されます。なお、わからないことがありましたら、下記までお問い合わせください。

●申請・問い合わせ先 ① 役場総務課 庶務係 ☎22-0555

### 福智の風

▶福智山に取材で登りました。「運動不足の体で大丈夫だろうか？」と心配していましたが、途中出会う人々と交わすあいさつで、すがすがしい気分になりました▶おかげで足取りも軽く、山頂まで無事到着。天気にも恵まれ、最高の景色を撮ることができました。そして、それを早く編集したい一心で、疲れも忘れて下山もスイスイあっという間に▶しかし、無理がたたったのか、翌日からの祭りの取材では、かなり激しい筋肉痛が全身を襲い、すごごちない様で走り回っていました。気合いで乗り切ろうと思いましたが、やはり体は正直だと思った今日このごろです。(昌太郎)

写真が語る 福智の 写真館

上金田山笠  
撮影者 ● かねめ写真館  
撮影日 ● 昭和41年10月21日

金田町制が50周年を迎えた昭和41年の上金田地区山笠と子ども山笠。上金田中央踏切前で撮影されました。上金田山笠は今もこの場所で集合写真を撮っています。

昔の写真を探しています！  
企画課広報・広聴係 ☎22-7766

高齢者大学・隣保館句会  
池田一步選

コーラスの声高らかに菊日和  
秋夜長安否気遣ふ電話かな  
坊垣の苔よりしきり霧華  
爽やかな声で始まるボランテア  
ははその昔のま、や月の秋  
冬瓜を配ってまはる一輪車  
峡谷の棚田静まり稲熟る、  
高原やたなびくさまに草の花  
水澄みて鯉の目玉の見ゆるかな  
あの頃は空に登りて柿を挽き  
目の手術終へて世界の変わる秋

有川 信子  
宇野八重子  
千手 弘子  
大久保幸子  
亀谷千恵子  
森 玲子  
小笠原雄子  
久松ミサオ  
丸山 妙子  
吉田 鈴子  
吉田 弘

福智町金田公民館俳句教室  
岩井竜童選

菱の実と揺れを同じにたらひ舟  
いま落ちし栗のしりもち拾ひけり  
栗を剥く昭和の指の節くれて  
吹く風のさらりさらりと山粧ふ  
団栗の独楽に輝く幼なき目  
虫の音に耳を酔はせて眠りけり  
初恋の乙女の香り青蜜柑  
こほろぎの協奏曲は闇の中  
鳴くことに命を繋ぐ秋の蟬  
カメラの目眩に集めて曼珠沙華

日比生利子  
松岡 萬枝  
建部三由紀  
永尾喜美江  
小川 雪  
長副美恵子  
迫田 昌子  
今井三千代  
吉村ヨシ子  
花石かほる

方句句会  
池田一步選

一雨の五感覚ましぬ今朝の秋  
調理法添えてなつかし芋茎つく  
閑深き豊後水道霧笛鳴る  
無花果を唐柿と呼ぶ昔かな  
寂しいと思ふ閑なし虫時雨  
雨音の遠のく庭に登る虫  
冷やかに堺枯川の碑も錆びぬ  
青蜜柑みかん感じる手の香り  
曼珠沙華一輪なれど華やかに  
コスモスの精に抱かれ微睡みぬ

野村 鈴子  
長尾 冨子  
桑野 昌宜  
白石 凡子  
渡邊 一枝  
尾崎 和子  
藤井耿之介  
杉 フジエ  
倉石嘉代子  
木村 誠一

# 四季の歌

心映の投句  
俳句・短歌教室の詠歌紹介

ともしび短歌会短歌詠草

天高し野辺を歩けばカメラの親子か秋の日ざしに跳ぬる  
故郷の山のにほひぞなつかしき栗飯たきて孫と食みたり  
秋風に乗りて聞ゆる祭りばやし浮き立つ調べ産土に満つ  
道場の矢道の芝の雀二羽弦音の響きに飛びたちゆけり  
新型のインフルエンザ流行す持病ある兄の気にかかりたり

白石 信子  
加治 智子  
三村 和子  
福田 昌  
越智早苗